

【第 15 回年次大会 研究発表 要旨】

日・韓コードスイッチングにみられる日本語の中性化現象について

李宥定

1. はじめに

生涯学習検定センター(web)が小中高生を対象に実施した言葉に関するアンケート調査の結果、約7割の応答者が日本語には男女差があると認識しているものの、「カレーライスうまいね!」「おまえ、いいかげんにしろよ」に対しては67.1%が「男女どちらでも良い」と答え、女性らしい言葉が敬遠され中性化する傾向があると指摘した。ここで言う中性化とは、男性による女性的表現の使用と女性による男性的表現の使用を意味するが、驚いたことに滞在している韓国人留学生による日本語からも同様の現象が観察された。

(1)南口!了解っす!(20代、女性、携帯メールより)

(2)저도 여기 있다가 보니까 へたくそ가 되어 가는 것 같아요.(20代、女性、録音より)

【私もここに来てからへたくそになっていくような気がします】

(3)ううん、今年はパス。(30代、男性、携帯メールより)

(4)あらあら まあー。(30代、男性、携帯メールより)

しかし、これまで韓国語母語話者の日本語使用におけるジェンダー指標表現の使用実態については、母語場面では無論、接続場面においても殆ど報告されておらず、その解明が求められている。したがって、本研究では日本に滞在している韓国人留学生を対象に、日本語と韓国語間のコードスイッチング(以下、日・韓CSと略す)にみられる日本語の中性化現象について考察した。以下、第2節では調査方法について述べ、第3節では分析の結果とそれに基づいた考察をし、最後に第4節で結論を述べた。

2. 調査方法

本研究は、韓国語母語話者の日本語使用における中性化の実態について調べるため、分析の対象として、滞在している韓国人留学生6名(女5、男1)から母語場面での自然会話の録音データ(「簡単ボイスレコーダー」:2013.4.23~2014.1.8、約957分)、携帯メールの文字言語データ(「ライン」と「カカオトーク」:2013.9.22~2014.3.31までの間約62日)、意識調査の結果(2014.5.1~4)を用いる。日・韓CSに関するデータは、在日韓国人、帰国子女、多文化家庭での二言語話者からも得られるが、所属集団により日・韓CSの性質が異なることから調査対象を韓国人留学生のみに限定した(郭, 2012)。録音及びメールのやり取りは、特定の話題を決めず、本研究者と交わしたものである。集まったデータは、因京子(2003)、阪口治子(2009)、陳一吟(2013)を参考に中性化と言える事例のみを抽出した。なお、男性の調査協力者は一名しかいないことから、本研究は女性の韓国人留学生を中心に考察し、男性の韓国人留学生による日本語の中性化現象については、稿を改めて論ずることとする。

3. 分析の結果及び考察

日・韓CSの全データから、日本語の中性化表現が使用された例を基に、以下のことが明らかになった。性差フォーム(従来のジェンダー表現を意味する)及び中性化表現が現れなかった集団と、性差フォーム及び中性化表現が現れた集団に分かれ、性差フォーム及び中性化表現が現れな

かった集団からは「日本語の学習歴」と「母語による影響」との関連性が考えられる。一方で、性差フォーム及び中性化表現が現れた集団からは「環境による影響」と「日本語に対し自然さを追求する意識」が関係していると推測される。そして音声言語における日・韓 CS では、韓国語ベースの文章内で CS が最も多く現れており (李, 2013)、日本語における性差フォーム使用の実態を把握するのが困難であるが、携帯メールの文字言語における日・韓 CS では、日本語ベースの文章間で CS が多く現れており、その実態が確認可能である。このような結果が得られたのは、媒体機器である携帯機器の文字入力機能の制約による影響と考えられる。

4. 結論

韓国人留学生は留学前からかなりの時間をかけて日本語について学び、学習初期の段階から日本語の性差についても勉強するが、なかなか使用語彙として習得するまでいかないケースもあれば、従来の性差フォームを超えた使い方をするケースもある。そこで、本研究では日・韓 CS にみられる日本語の中性化現象を把握するための第一歩として、女性の韓国人留学生を対象にその実態と原因を考察した。なお今回の調査では解明できなかった男性の韓国人留学生による日本語使用の中性化と接続場面における中性化現象については今後の課題とする。

[参考文献]

- 李宥定(2013)「韓国人留学生の言語使用の特徴」『東アジア日本語・日本文化フォーラム』第 15 回予稿集, 28-31.
- 郭銀心(2012)「韓日バイリンガルのコードスイッチングに關一考察」『日本語教育研究』第 24 号韓国日本語学会, 159-178.
- 生涯学習検定センター【web】http://r25.yahoo.co.jp/fushigi/rxr_detail/?id=20090625-90007306-r25
- 因京子(2003)【web】「マンガに見えるジェンダー表現の機能」『日本語とジェンダー』第 3 号 https://gender.jp/journal/backnumber/no3_contents/Chinami/

(イ ユジョン・九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程)